

第24回

ふるさとイベント大賞

各賞決定!

大賞 内閣総理大臣賞 地獄の谷の鬼花火

【開催地】
北海道登別市
登別地獄谷展望台周辺
【開催日】
令和元年6月1日(土)
~7月31日(水)までの間、
毎週木・金曜日

イベントの概要

登別を代表する景勝地「登別地獄谷」を舞台に、人々の幸せを願い、人々の厄を持ち去るために地獄谷に棲む湯の護り神「湯鬼神(ゆきじん)」たちが、約8メートルの火柱が上がる手筒花火を噴火のように夜空へ放ちます。

最優秀賞 総務大臣表彰 よさこい祭り

【開催地】高知県高知市内
【開催日】平成30年8月9日(木)~12日(日)



高知県内最大の祭りである、よさこい祭り。毎年高知市内において8月9日の前夜祭、花火大会から、10・11日の祭り本番、12日の全国大会、後夜祭と4日間、色鮮やかな踊り子たちが鳴子を鳴らして舞い踊ります。

優秀賞 RENEW

【開催地】福井県鯖江市・越前市・
越前町全域
【開催日】平成30年10月19日(金)
~21日(日)



福井県丹南エリアにある漆器やメガネ、和紙などの工房を一斉開放するイベントです。来場者は工房見学やワークショップを通じて作り手の想いや背景を知り、技術を体験しながら商品を購入することができます。



【開催地】福岡県柳川市
柳川市内一帯
【開催日】平成31年2月11日(月)
~4月3日(水)
子どもの健やかな成長を願い、縁起物の布細工と「柳川まり」を組み合わせた「さげもん」を市内の観光施設や店舗で飾り付けます。また、子どもたちが稚児衣装を身にまとい舟に乗る煌びやかな「おひな様水上パレード」なども開催されます。

優秀賞 能登小木港イカす会2019

【開催地】石川県能登町
小木地内
【開催日】令和元年5月26日(日)



日本有数の沖合イカ釣漁の漁獲量を誇る能登小木港。この「イカのまち小木」だからできる、イカを見て、触れて、知って、食べて、と「イカのことがすべてわかる」「少しきらいじーで楽くおいしい、イカの祭」です。

ふるさとキラリ賞 狐の夜祭り

【開催地】新潟県柏崎市
高柳町柄ヶ原地区及び漆島地区
【開催日】平成30年10月14日(日)

「自分たちが楽しめ、地域を元気！」と始めた手作りのイベント。山道を提灯の火を頼りに手作りの大油揚げを担ぎ、麓の集落で踊って騒ぐという物語へ、回数を重ね進化してきました。「歩いた人から、きつねの気分」をキャッチフレーズに祭りへの参加を広く呼びかけています。

選考委員特別賞 フェスティビタス ナタリス

【開催地】長崎県南島原市
南島原市立有馬小学校グラウンド
【開催日】平成30年12月1日(土)

ヨーロッパに伝えられた約430年前の報告書をもとに戦国時代のクリスマスを再現したイベント。少年使節団のローマ教皇謁見報告や当時の南蛮行列、西洋音楽、南蛮料理を楽しむことができます。

- 1 地獄の谷の鬼花火
(北海道登別市)
- 2 よさこい祭り
(高知県高知市)
- 3 能登小木港イカす会2019
(石川県能登町)
- 4 RENEW
(福井県鯖江市)
- 5 柳川雛祭り さげもんめぐり
(福岡県柳川市)
- 6 狐の夜祭り
(新潟県柏崎市)
- 7 Humanoise Project 農村舞台音楽公演
(徳島県那賀町)
- 8 フェスティビタス ナタリス
(長崎県南島原市)

EVENT MAP



一般財団法人
地域活性化センター
Japan Center for Regional Development

*注：開催日は今回の表彰対象となった日を掲載しています。

第24回

ふるさと イベント大賞

ひとの想いがイベントを創る

「ふるさとイベント大賞」は、全国各地で数多く開催されている地域の活力を生み出すイベントを表彰し、全国に向けて紹介することによって、ふるさとイベントの更なる発展を応援することを目的に設けられた賞です。

今回で24回目を迎え、第23回までに、170の個性豊かなイベントを表彰しています。

今後も、ふるさとイベントの創造・発展を促すことで、地域固有の風土・伝統・暮らしを守るとともに、地域に対する愛着と誇りを育み、内外との交流による地域の活性化を目指しています。

選考基準

評価のポイント	
企画	<ul style="list-style-type: none">● 地域資源を積極的に活用している。 (地域資源: 風土、産業、食文化、伝統文化、歴史、特産物、建築物・構造物など)● 独創性に溢れ、新たな地域の魅力を創り出している。● 多くの人を惹きつける魅力がある。● 魅力を増すための創意工夫が顕著である。
効果	<ul style="list-style-type: none">● 地場産業の振興や観光客誘致など、経済的な波及効果がある。(低予算でも波及効果が大きいなど)● 地域の知名度アップに貢献している。● 地域住民の郷土意識の高揚に繋がっている。● 伝統文化の継承や新しい文化の創造に繋がっている。
運営	<ul style="list-style-type: none">● 地域住民が積極的に参加している。(参加することに誇りを持っている。)● 地域の内外を問わず、交流や連携が行われている。● 継続して開催されており(継続される見込みがあり)、将来の発展性が見られる。

選考委員紹介



選考委員長
北川 フラム

アートディレクター
(株)アートフロントギャラリー
代表取締役

撮影:山本マオ

今回の受賞イベントは、登別地獄谷という土地、よさこい祭りという地域色の濃いもの、イカ漁、地元産業のモノづくり、柳川ひな祭り、狐の夜祭り、農村舞台、キリストian来日という、いずれもそれぞれの土地に深く根付いた資源を掘り起こし、磨き、集い、囃すというものでした。経済的な効率第一主義が地域文化を喪失させ、世界がのっぺりとなっていく現在、地域の生活、産業、歴史に深く関わったものの重要性は高まるばかりです。忘れられた私たちそれぞれの土地の大切さを、ますます自覚したいと思うものです。



内原 智史
(有)内原智史デザイン事務所
代表取締役



楓 千里
(株)JTBパブリッシング
顧問



角田 光代
作家
撮影:垂見健吾



吉本 光宏
(株)ニッセイ基礎研究所
研究理事



安川 尚宏
NHK制作局制作主幹



古尾谷 光男
全国知事会事務総長



境 勉
総務省大臣官房
地域力創造審議官



椎川 忍
一般財団法人
地域活性化センター
理事長

お問い合わせ 一般財団法人地域活性化センター 地域創生グループ TEL 03-5202-6136 FAX 03-5202-0755 E-mail:event@jcrd.jp



一般財団法人
地域活性化センター
Japan Center for Regional Development